

様式第7（第7条関係）

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

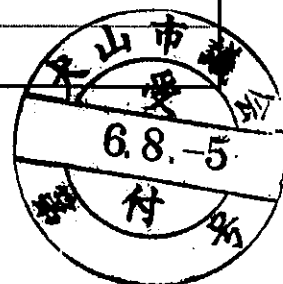
令和6年8月5日

犬山市議会議長

議員名 柴山 一生

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 年 月 日	令和6年7月10日(水)～令和6年7月11日(木) (1泊2日)
(2) 場 所	早稲田大学井深大ホール
(3) 形 態	会派 () : その他 (柴山一生)
(4) 内 容	別紙のとおり
(5) 成 果 ・ 提 言	別紙のとおり



令和6年7月22日

犬山市議会議長

柴田ひろゆき様

全国地方議会サミット 2024 視察報告

日時：令和6年7月10日～11日

場所：早稲田大学井深大記念ホール

最初に、北川正恭代表の話だった。往年の恰幅の良さはなくなって首回りなど筋が目立ち病気なのかと思うほどだが、熱意だけはかつてと同じか。地方自治を何とか進めなければいけないという切迫感はより感じられた。

まず、今回の自治法の改正は最悪とおっしゃったときは、溜飲が下がった。なぜなら私も6月議会で国の指示権を強化するような改正は改正ではないと警鐘を鳴らしたつもりであったからだ。北川氏も同様の思いであった。その後も、「地方の問題は地方で解決」し、できなければ、「国と協議」という基本的なスタンスを変えるべきではないと熱弁された。

さらには、「法律が間違っていたらどうする？」「議員がその義務と権利が法律改正にある」「議会こそ頑張らねば」と持ち時間をはるかにオーバーしながらも参加する400人の地方議員に活を入れようとされた。

パネルディスカッション

ここでは、現在も復旧のさなかにも関わらず、能登半島から議会の代表が集合し、実際何が起きているのかを訴えかけた。行政は現場の仕事で忙しい、議会がこういう時スポークスマンとして支援を求める役割というのも妥当かと感じた。

☆椿原輪島市議会議長

輪島の年間予算は普通200億円だが、6月議会の段階で800億となった

政府の支援ではなく対応が必要

☆珠洲市議会番匠雅典議長

正院町全壊 軍艦島倒壊

北陸電力移動電力を避難所へ

ガソリンスタンドが1/5から再開数量限定長蛇の列

議員の被災状況1/5に議員全員の安否確できた

1/27 全協

☆能登町議会金七議長

家族が帰省し 8 人在宅

3 人下敷き助けた

他にも 3 人のうち 2 人助けた中学生頭梁に挟まれ死亡

三日間電波なし

69 世帯津波なく避難訓練のおかげ被害最小

1/9 に登庁 議会事務局を通して役所に連絡

輪島珠洲能登穴水で連絡協議会設立

想定外の連続

被災地首長の対談

大西一史第 32 代熊本市長／泉谷 満寿裕珠州市長

対口支援という新しい言葉を知った。珠州市市長が浜松市が対口支援の相手だと言った時には、まあ、何か災害協定を結んでいるんだろうと思ったが、この言葉は中華人民共和国が 1970 年代に使い、各都市を一对一で支援しあうシステムを作ったそうだ。日本もそれに倣って 2011 年の東日本大震災の頃から本格的に始まり、2018 年に「応急対応職員派遣制度」としてスタートしたそうだ。珠州市の相手は浜松市だそうだ。

対談の中で、液状化東西 5 キロにわたった話や、復旧作業をするうえで、住民の同意を取るのが難しいという現実もやはりあるそうだ。どういう目的なのかは聞き逃してしまったが、地下水位を下げる作業があるそうだが、その時に使うポンプの電気代は国が直接出さないで、復興資金を使ったそうだ。

付け加えるが、被災した分譲マンションの解体は大変難しい問題をはらんでいる。

高知市議会議員 トイレカーを各自治体が持って被災地域に送り合うにはどうか？

熊本はマンホールトイレが整備してある

円城寺雄介宇宙公務員

ドローンを使って空撮と物資輸送

いきなりできない

西原村 自分の家を確認するのにドローンを使いたいと言う住民の要望があった

片山

遺児孤児対策が縦割りで誰も手をあげない

松本大臣暴言事件 遺児孤児対策のお願い

はざま対策がいる

検証が下手 ガダルカナルも検証していない

補正予算

増税無くして復興なし

11月に補正

戦争と災害は国債発行できる

災害対策は国ではなく県が責任を取る

読み合い会はやめろ

2日目

広瀬法政大学教授

発災期:3日間は自力で生き抜け

応急期:4日から1週間

復旧期:1週間から数ヶ月プラス α

議員の役割をフェーズごとに決めて市民と共有する

発災期、応急期 議会はおブザーバー（議員がでしゃばるな！）

パネルディスカッション

久慈市議会議長 濱欠明宏 罹災証明書発行が復旧復興への第一歩

義援金は希望を与える

ドーム型球場 平時は球場、緊急時は避難所になるよう県に作るよう請願

福田

10年かかって復旧工事は終了

2011年3月11日常任委員会の最中

全ての書類もパソコンも水没

生き残った予算書をもとに議決し当初予算を通した

任期半年伸ばした

議長は8月に肺がんで死亡

復興計画がなければ国から金が出ない

1800人が一瞬で死亡

議員は何をやっていると非難された

携帯繋がるまでに1ヶ月かかった

妻は市職員当日 15:26 にメールを送って死亡

伊澤双葉町長

令和 4 年 8 月 30 日全町の 15%解除

8000 人あまりの町民 4000 人は県内 3000 人は県外へ避難

避難民の懸念は情報不足

濱欠（ハマカケ） 議会事務局長が議員情報を集約し当局に伝達

二度被災 津波は波動砲

議員はてんでバラバラに活動すべきではない

福田 現議員の 4 分の 1 だけが東北震災を経験 我田引水の議員がいた 議員研修をして基本的な行政の仕組みを理解してもらっている

伊澤 埼玉県 の廃校に避難し、役場機能もそこに持っていったため 24 時間勤務になってしまった

濱欠 復興計画の見直しをすべき

福田

橋本大也デジタルハリウッド教授

議事録を元に発言者のロボットを作る。自動文字起こしを超え、議事録をもとに、もう一人のあなたを作ってしまうことも可能。議事録をみれば、考え方や使用用語なども傾向性があり、ロボットの発言は本当に当人の様に聞こえる。面白い時代になった。

パネルディスカッション

川上／平田／小籠／江藤

議選監査

あきるの市やる気だね結局は

学校の校庭の倉庫も監査すべき。色んなもの入ってるからね

オンラインも効果的

監査委員の視察

可児とあきるのは以前は広報今は監査で鎬を削っている

平田監査事務局長 3 年目皆の敵

土山教授の「委員会代表質問を活かす」は正直何をやろうとしているのかわからなかった。

犬山市への提言

前時代的な、被災者対応、復旧復興の考え方から脱却すべきだろう。1995年阪神淡路大震災、2011年東日本大震災、2016年熊本地震、2024年能登地震の避難所の四枚の体育館避難所の写真を見せてもらって、全く変わり映えのしない、ギューギュー詰め施設のまま30年がたってしまった。

市民は、行政は頼りにならないとわかってきている。行政も正直に、大規模地震が起きたらお手上げであることを市民に分かってもらい、少なくとも一週間分は何の手助けなくとも自力で生きて行けるように家族で自宅避難体制を充実させるよう話すべきだろう。

一方で、今回の片山元総務大臣が言ったように、災害対策の太い柱は県が担うべきで、本気の大規模災害対応体制を整えるべきだ。

例えば、仮設住宅も、キャンピングカーを千台でも二千台でも確保しておけば、半日で被災者家族の住宅は供給できる。トイレカーも同様。キッチンカーも同様。風呂カーも同様。食料品日用品販売車も同様。

無駄な、仮設住宅建設に金や人力、時間を使っているなら、上記のような対応をすべき。

私は、能登に2月23日に入ったが、やっと仮設住宅を建設始めていた。避難所の皆さんは、本当に疲れ切っていた。

現実的な、素早い災害支援対応ができるよう行政には期待する。